

# 園だより あおいそら 12月号

## 園長のコラム

令和6年11月15日（金）  
熊本大学教育学部附属幼稚園

### 実りの秋

11月に入りましたが、朝夕と日中寒暖差が大きく、皆様、体調を崩されないかと心配しております。一方、園内では、柿やみかんなどの果物が色づき、実りの秋を感じさせてくれています。先日、年少組は、高橋公園へ、年中組は、二の丸公園に秋の遠足に出かけました。広い公園内で楽しく過ごす事ができました。しっかりと歩く姿を見ると大きな成長を感じました。秋は子どもたちの心も体もともにステップアップの大切な時期でもあります。

さて、10月から附属小学校の1年生と年長組の子ども達が交流をしています。1年生は、年長さんが喜んでくれる遊びを考えて来てくれます。はじめ、1年生が折り紙や作った物などで年長さんとかかわりをもとうとしますが、なかなかうまくいきません。まだ、関係がとれていないため、互いに気をつかい、どうしようもない時間だけが流れていきます。最後のお別れをする時、年長の女の子がみんなに言いました。「やりたいことができなかった。」そうなんです。「何をして遊びたいか？」それは、互いに思いを出し合って話し合わない限り伝わらないのです。この日は互いに悶々とした時間を過ごし1年生は帰って行きました。その後、先生たちも一緒にこれからのことを考えました。1年生も年長組の子ども達もいろいろ話し合いました。次の交流の日、それぞれのグループのメンバーと一緒に話し合い、遊び始めました。すると子どもたちの楽しいという気持ちが園庭に広がり、遊びが動き始めました。年長組が遊んでもらっている、1年生が遊んであげているという空気はありません。先生方も援助や指導を最小限にとどめ、子ども達の思いを大切にしています。「今日は・・・の遊びをしましょう」これでは、子ども達は何も考えず、やらされる活動になってしまいます。楽しむために試行錯誤する、時には思いが食い違うこともある。互いに折り合いをつける。子ども達は、そんな思いをしながら日々成長し、楽しい遊びや学びを創り上げていくのです。1年生と年長さんの姿を見て改めて気づかせてくれました。

私たちは、子どもさん方の10年、20年後先を色々な角度から予想して、生きぬく力を身に付けさせたい。すぐに、成果や結果が出ることではないのですが、「子ども達には、確かにこれが大切だ。」と自信をもって保育をしていきたいと思えます。



#### 年中組さんの遊びの跡・・・

「たくさん遊んでくれてありがとう！」そう言いたくなります。そして私たちは子ども達の遊んだ様子を振り返り、反省し、明日の保育を考えます。

子ども達に明日はもっと楽しい遊びを！ままごと遊びはたくさんのかを教えてください。